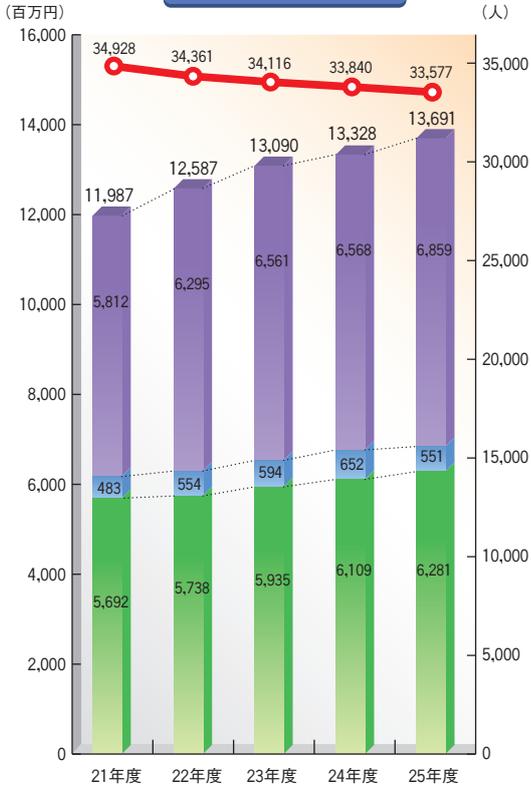


真岡市

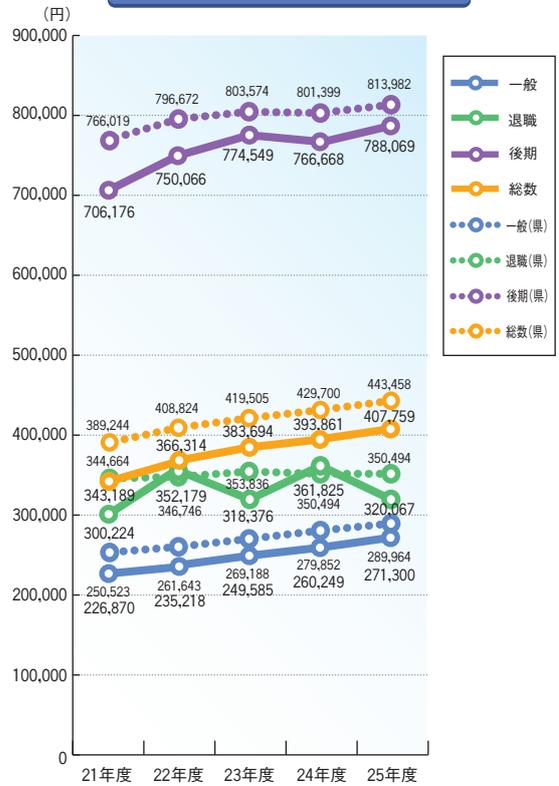
# 真岡市



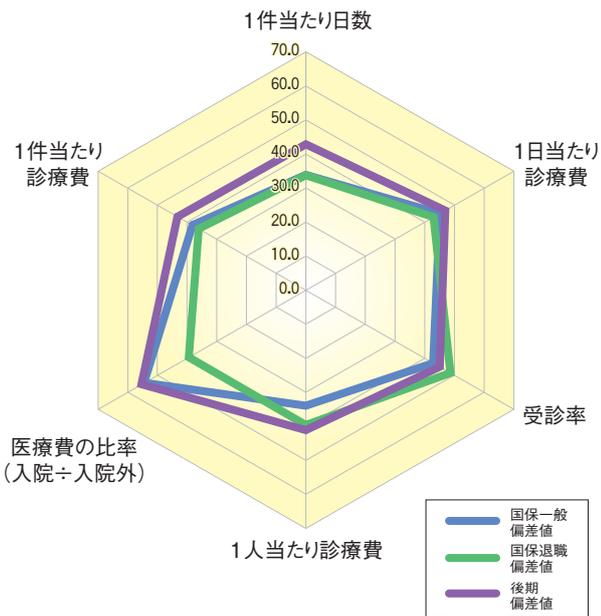
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

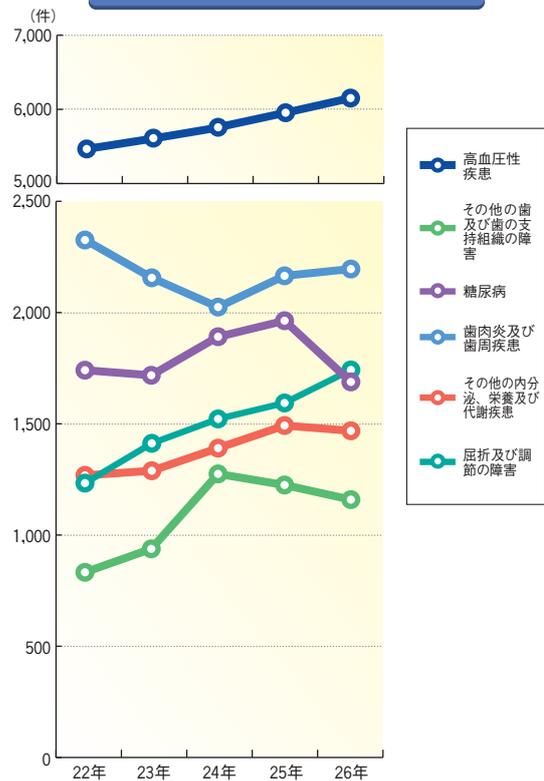


## 平成25年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

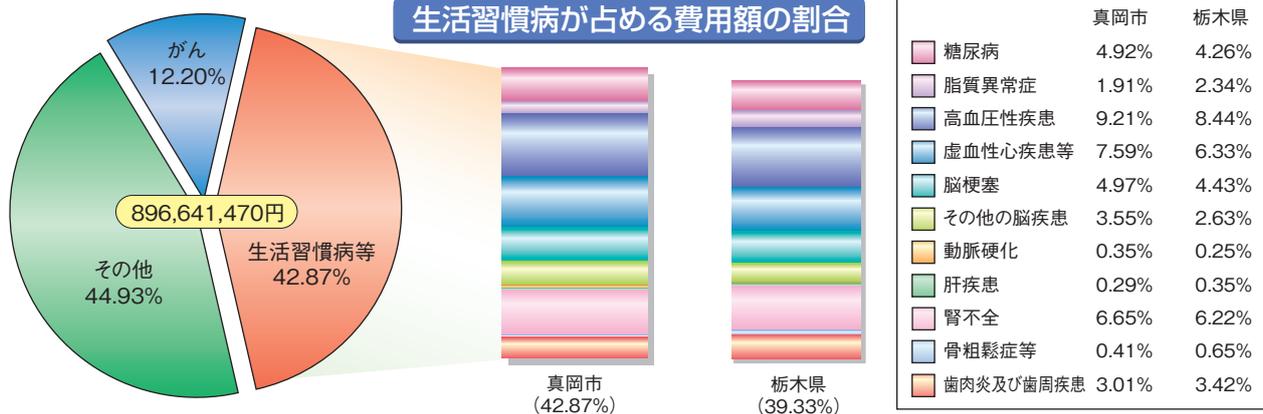
## 多受診疾病上位6位の推移



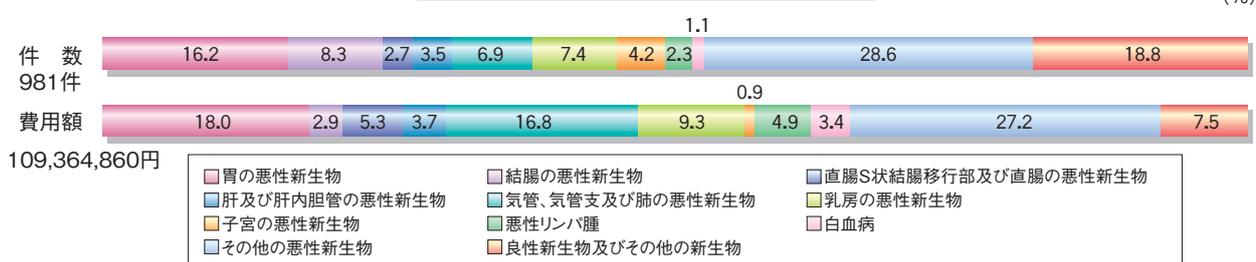
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 真岡市の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,281,128千円(102.8%)、退職550,836千円(84.5%)、後期6,859,354千円(104.4%)で、全体では13,691,318千円(102.7%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は33,577人で、内訳は一般23,152人、退職1,721人、後期8,704人である。前年度と比較すると全体で99.2%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は407,759円(13,898円増)、一般は271,300円(11,051円増)、退職は320,067円(41,758円減)、後期は788,069円(21,401円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1件当たり日数、1人当たり診療費、1件当たり診療費及び受診率において、いずれの法別も県より低い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成26年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも3位屈折及び調節の障害は増加傾向にあり、平成22年と比べ件数で1.42倍、費用額では1.82倍となっている。

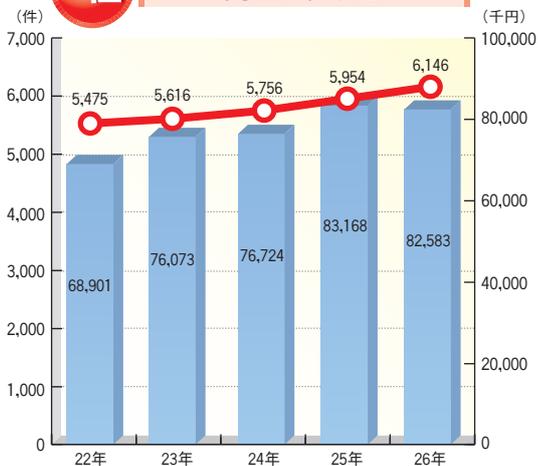
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ、虚血性心疾患以外の4疾病において高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が896,641,470円で、がんが12.20%、生活習慣病関連が42.87%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.21%、虚血性心疾患等7.59%、腎不全6.65%、となっている。

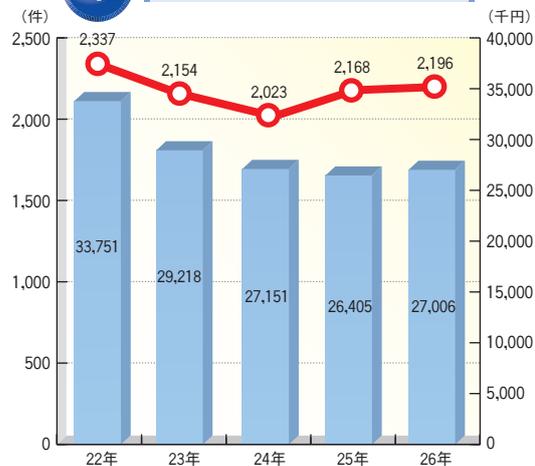
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6 の年次推移

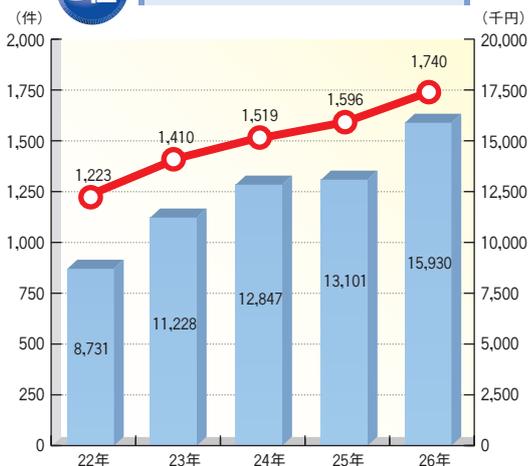
## 1位 高血圧性疾患



## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



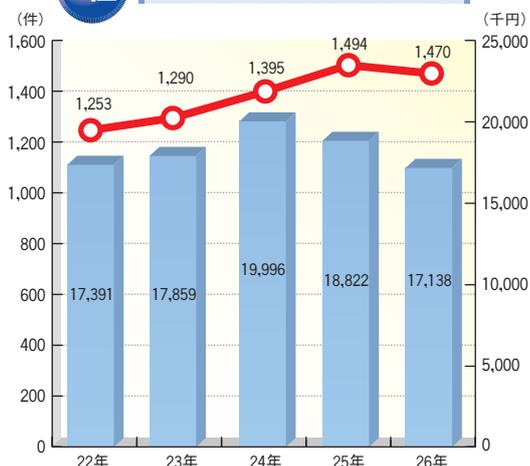
## 3位 屈折及び調節の障害



## 4位 糖尿病



## 5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

